

# 広報 しばた 5

2015.  
since 1961 No.643



## しばた千桜橋開通

先人たちが植えた美しい桜が、永遠に咲き誇って欲しいという願いが込められた「しばた千桜橋」。樹齢百年の桜並木とNHK大河ドラマ「縦ノ木は残った」ゆかりの地を結ぶ“桜回廊”に県内外から多くの観光客が訪れました。

まちの将来像



これから4年間のまちづくり

# 第5次柴田町総合計画 後期基本計画を策定

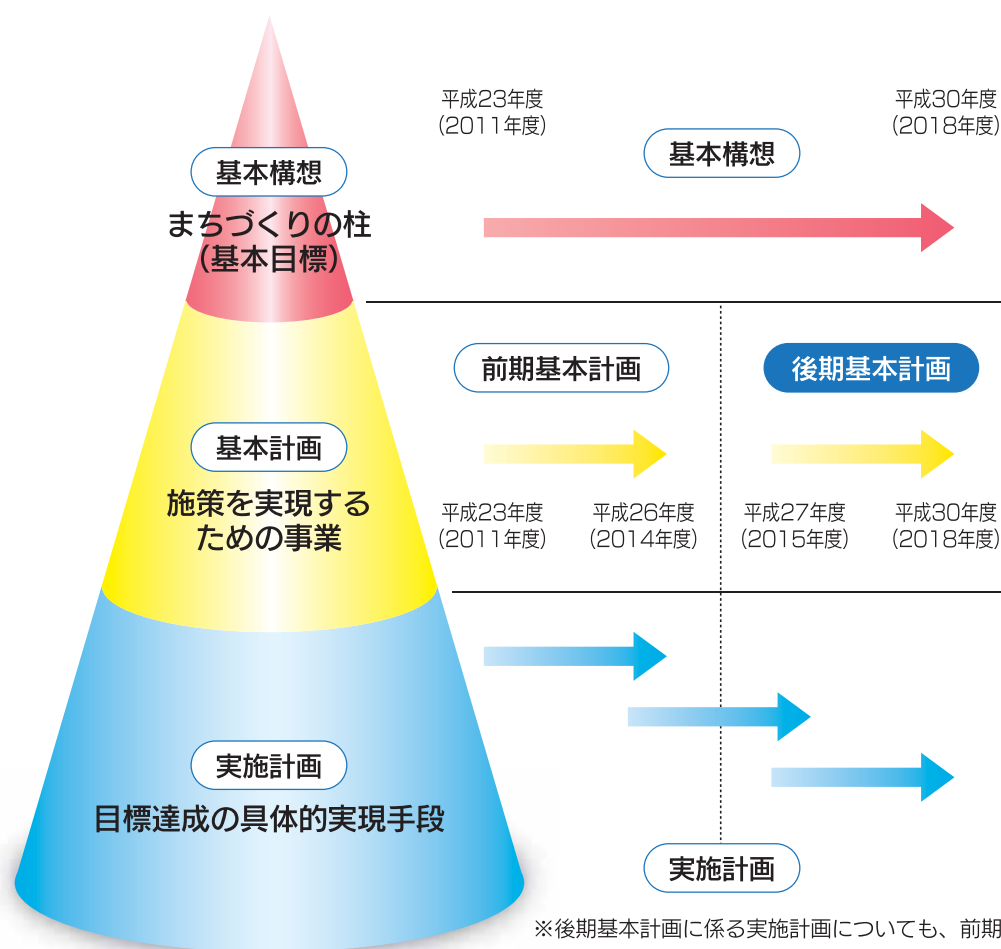
平成23年3月にまちづくりの基本的な方向性を示す基本構想（計画期間：平成23年度～30年度）と、町の基本的な取り組みを定める前期基本計画（計画期間：平成23年度～26年度）を策定し、各種施策を展開してきました。

平成27年3月に前期基本計画期間が終了し、今年度は基本構想8年間の折り返しとなります。町のさらなる発展を目指して今後4年間のまちづくりを着実に進めるため「後期基本計画（平成27年度～30年度）」を策定しました。

※「第5次柴田町総合計画後期基本計画」は、町ホームページに掲載しています。

問まちづくり政策課 ☎54-2111

## 総合計画の構成および計画期間

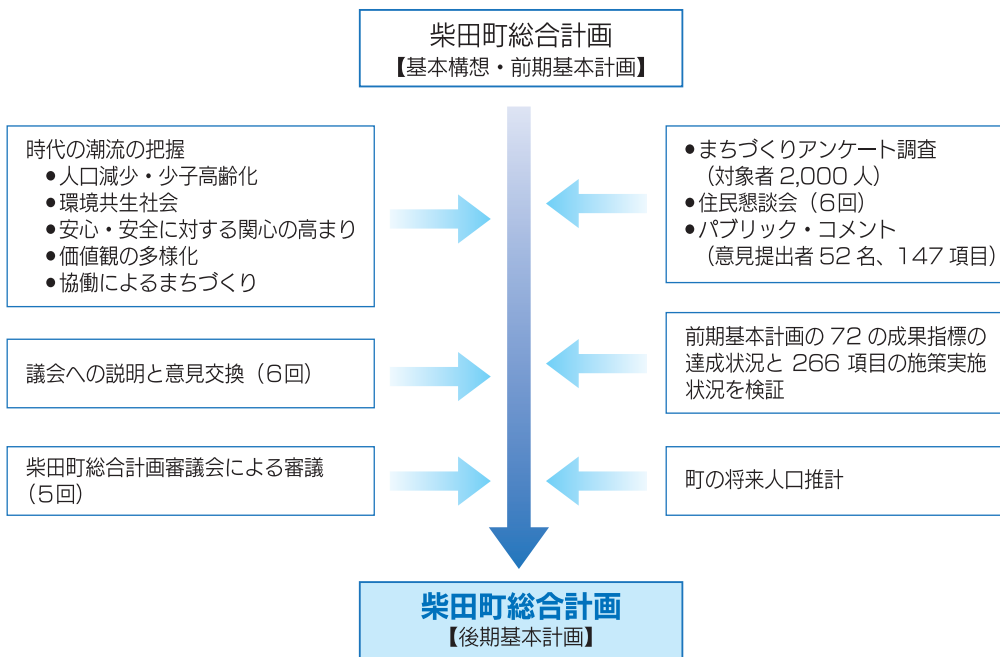


総合計画は、私たちが目指す将来のまちの姿を明らかにし、その実現に向けたまちづくりの方針と方向性、そして町の基本的な取り組みを定める計画であり、「まちづくりの羅針盤」となる計画です。

総合計画は、今後のまちづくりの柱となる「①基本構想」、基本構想を実現する事業を取りまとめた「②基本計画」、毎年の事業実施、予算編成の指針となる「③実施計画」という3つの計画から構成されています。

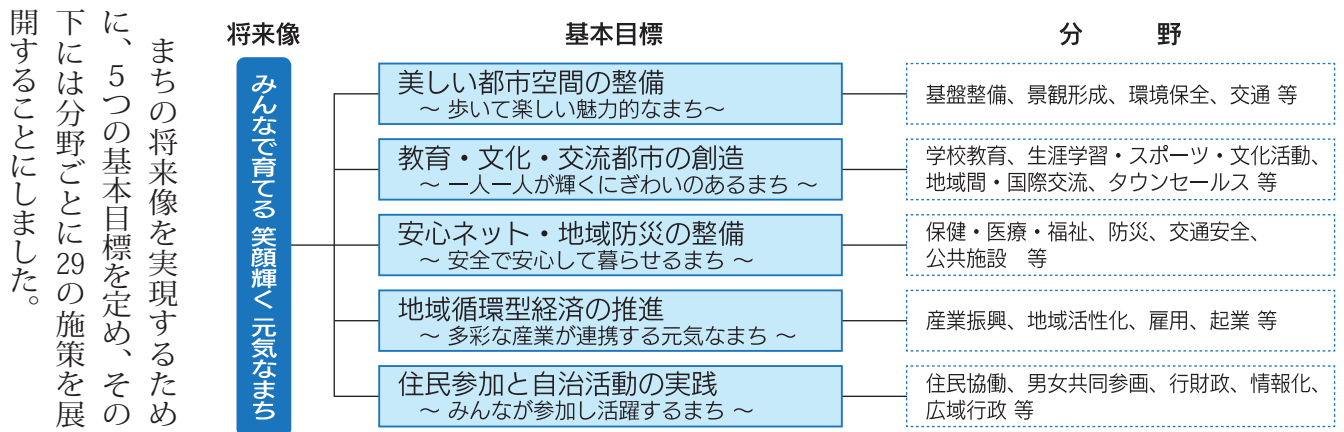
※後期基本計画に係る実施計画についても、前期基本計画と同様にローリング方式で毎年度策定します。

## 後期基本計画策定にあたっての検証ステップ



前期基本計画に掲げた266項目の事業を検証した上で、アンケート調査、町内6会場での住民懇談会、パブリック・コメント、議会との意見交換、総合計画審議会による審議などを実施して寄せられた多くのご意見やご提案を計画に反映しました。また、時代に即した新たな視点での施策も取り入れています。

## 将来像と基本目標



## 平成30年(2018年)の将来人口(目標) 38,500人

区分	平成21年 (2009年)	平成25年 (2013年)	平成30年 (2018年)
総人口	38,875人 (100.0%)	38,658人 (100.0%)	38,183人 (100.0%)
年少人口 (14歳以下)	5,116人 (13.2%)	4,991人 (12.9%)	4,809人 (12.6%)
生産年齢人口 (15歳～64歳)	25,462人 (65.5%)	24,244人 (62.7%)	23,317人 (58.4%)
老年人口 (65歳以上)	8,297人 (21.3%)	9,423人 (24.4%)	11,057人 (29.0%)

注) 平成21・25年は住民基本台帳・外国人登録による実績値、平成30年は同推計値(コホート変化率法)

平成30年には、町の人口は38,183人になると推測され、人口減少とともに、高齢化の進展が見込まれます。そこで、本計画では、安全・安心な生活環境の整備や産業振興をはじめとする地域の活性化、地域資源に磨きをかけるなど、いろいろな施策に積極的に取り組み、人口減少に歯止めをかけることによって、平成25年の人口水準を維持させることとし、平成30年の目標人口を38,500人とします。

## 5つの基本目標の施策の展開

将来像

基本目標

基本目標の施策展開

みんな  
で  
育  
て  
る  
笑  
顔  
輝  
く  
元  
気  
な  
ま  
ち

### 基本目標 ①

#### 美しい都市空間の整備

～歩いて楽しい  
魅力的なまち～



- 1-1 快適な生活空間の整備
- 1-2 歩きたくなる街並みの形成
- 1-3 環境保全の推進
- 1-4 農村空間の保全と里山景観の再生
- 1-5 地域公共交通への支援

### 基本目標 ②

#### 教育・文化・交流都市の創造

～一人一人が輝く  
にぎわいのあるまち～



- 2-1 学び合う教育環境の充実
- 2-2 自然体験学習の推進
- 2-3 青少年の健全育成
- 2-4 生涯学習・スポーツ・文化活動の推進
- 2-5 地域間交流・国際交流の推進
- 2-6 タウンセールスの推進

### 基本目標 ③

#### 安心ネット・地域防災の整備

～安全で安心して暮らせるまち～



- 3-1 健康づくりの推進
- 3-2 地域医療・救急体制の充実
- 3-3 誰もが安心して暮らせる福祉の推進
- 3-4 子育て・子育て支援の充実
- 3-5 地域防災力の向上
- 3-6 交通安全・防犯対策の推進
- 3-7 公共施設の整備

### 基本目標 ④

#### 地域循環型経済の推進

～多彩な産業が  
連携する元気なまち～

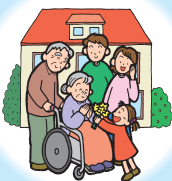


- 4-1 観光まちづくりの推進
- 4-2 農商工連携によるものづくり
- 4-3 地域産業の活性化
- 4-4 労働・雇用対策の充実
- 4-5 社会事業のビジネス化

### 基本目標 ⑤

#### 住民参加と自治活動の実践

～みんなが参加し  
活躍するまち～



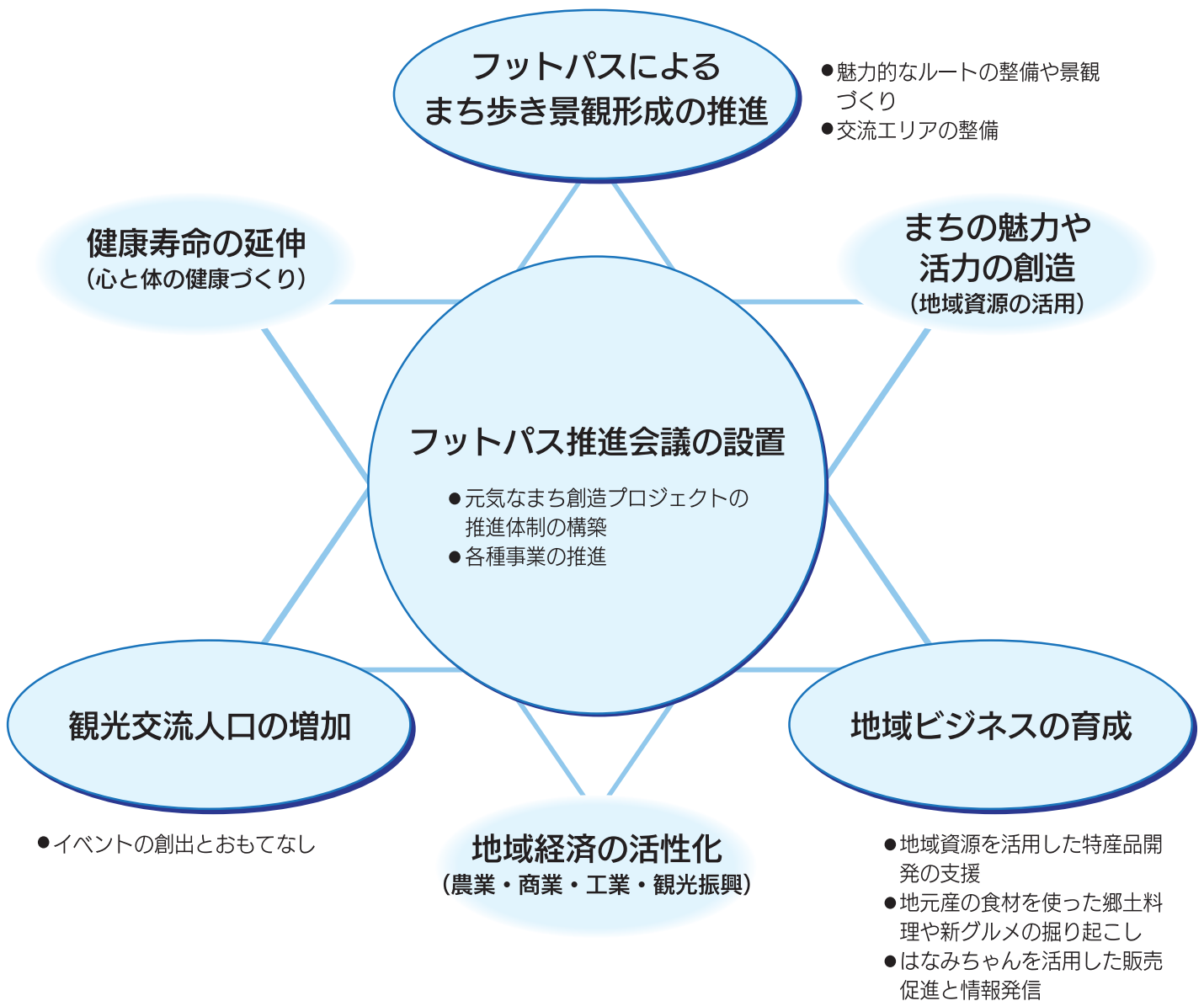
- 5-1 参加と協働の推進
- 5-2 地域コミュニティ活動の推進
- 5-3 男女共同参画社会と人権啓発の推進
- 5-4 行政経営改革の推進
- 5-5 情報の共有と情報化の推進
- 5-6 広域行政の推進

## 重点プロジェクトによる取組

### 元気なまち創造プロジェクト

柴田町の自然景観や田園風景、歴史や文化を活用した、歩いて楽しい\*フットパスを整備していく中で、まちや里山の魅力を再発見するとともに、さらにこうした地域資源に磨きをかけることで、国内外からの集客に努め、にぎわいや仕事起こしに結びつけることによって地域経済を活性化させ、人やもの、情報が盛んに行き交う元気なまちを目指すものです。

### フットパスによる元気なまちづくりの推進



※フットパスとは 【日本フットパス協会定義】

森林や田園地帯、古い町並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら「歩くこと (foot)」ができる「小径 (こみち：path)」とされている。



地域の歴史や文化を感じながらゆっくり歩いていこう



柴田町長 滝口 茂

周りに子どもがいな  
せいか、空高く泳ぐこ  
のぼりを見る機会が少  
くなりました。我が国  
は、※合計特殊出生率  
1・43となっていて、  
子どもが増えない状  
況が続いています。こ  
うした影響は、我が  
国や地域社会に暗い影を落として  
います。

「子どもが聞かれなくなっ  
て寂しい」「子どもが集まらずス  
ポーツ少年団を解散した」「学  
校に入学する子どもたちが年  
々少なくなっている」とい  
うような嘆きが聞こえてきま  
す。

さらに子どもの貧困や虐待が大  
きな社会問題になるなど、ど  
こか社会が病んでいるように思  
えてなりません。なぜ子ども  
が少なくなってきたのか。一  
つは若い人の出会いの場の不  
足。二つめは、子育ての不安  
や経済的負担への懸念。三つ  
めは、子育てより一人の時間  
を大切にしたいという個人主  
義の蔓延など、さまざまな指  
摘があります。

国は、少子化の克服を最大の  
政策課題に位置づけ、今年  
の4月から子ども・子育て支  
援新制度をスタートさせまし  
た。町もこれに呼応し、小規  
模保育を3カ所です。また、お見  
合いイベントを通じ

## 端午の節句

て若いカッブルを誕生させる事業を  
実施している自治体もあります。あ  
らゆる手段を使って、結婚や子  
育てがしやすい環境を整備する  
ことは当然なこと。しかし、こ  
うした対策は小手先だけで、本  
質的な解決にはならないとの疑  
念も持っています。

根本的に解決しなければなら  
ないのは、若い人たちに広がる  
所得格差です。若い人たちが結  
婚したい、子どもを持ちたい  
と思っても、非正規雇用では、  
自信を持って家族を養っていく  
ことは困難です。さらに、安定  
した高収入を男性の魅力とする  
女性が多いというアンケート調  
査もあり、なかなか結婚に至ら  
ないのが現実です。

今年の春闘では、久しぶりにベ  
ーシックが実現しましたが、それ  
は大企業のこと。まだ中小企業  
には及んでいません。やはり若  
い人たちにとって、所得格差の  
ない平等な社会、生きがいと希  
望を持つて働ける社会に変えて  
いかない限り、子どもの増加は  
見込めないのではないのか。も  
う一度、端午の節句をみんな  
で喜べる格差のない社会に戻  
したいものです。

※合計特殊出生率…1人の女性  
が生涯に産む子どもの平均数

## 副町長就任のあいさつ

平成26年度柴田町議会3月会  
議で、水戸敏見氏が副町長に  
任命されました。

任期は平成27年4月1日から  
平成31年3月31日までの4年  
間です。

このたび、副町長に任命され、  
その職責の重さに改めて身の  
引き締まる思いでございます。  
もとより微力ではございます  
が、滝口町長を補佐し、議会  
や関係団体等の皆様と連携  
を図りながら、「住んでよかつた  
」と思えるまちづくりのため、  
誠心誠意努力してまいります。

町民皆様方のご指導ご協力を  
賜りますようお願い申し上げ  
まして、副町長就任の挨拶と  
いたします。



### 【プロフィール】

水戸敏見

60歳 西船迫在住

昭和55年、柴田町に就職。  
企画財政課長、財政課長、  
総務課長を務め平成27年  
3月に定年退職。宮城県白  
石高等学校卒業。



### 行事食って何だろう？

季節ごとの行事などに食べる特別な料理のことです。子どもの成長や家族の健康、幸せなどの願いが込められています。

昔から日本人は、行事食を食べて季節の変化を感じながら栄養を取ってきました。では、行事食はどんなものがあるのでしょうか。

(お正月)  
おせち料理



(桃の節句)  
ちらし寿司



(彼岸)  
おはぎ



(七五三)  
千歳あめ



(大晦日)  
年越しそば



### 端午の節句になぜ「ちまき」や「柏餅」を食べるの？

5月5日は「端午の節句」です。かぶとを飾ったり、鯉のぼりをあげたりして男の子の健やかな成長を願う日です。

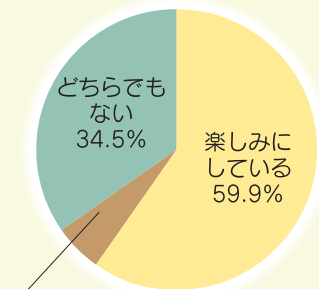
**ちまき**…餅米や米粉で作った餅を笹の葉などで巻いて、蒸すなどしたものです。丈夫に育ってほしいという親の願いが込められています。



**柏餅**…上新粉で作った餅に、あんを挟んで柏の葉で包んだもの。柏の葉は、新芽が出ないと古い葉が落ちないことから、「家系が絶えない」＝「子孫繁栄」を願っています。



### 「食事を楽しみにしている」小学生・中学生の割合は？



出典：平成24年度食育に関するアンケート調査結果  
(小学校5年・中学校3年)

### これも食育！「食文化の伝承」

- 家庭や地域の料理を伝承する
- 旬の食材を使った行事食や郷土料理を味わう

～第2期柴田町食育推進計画より～



日頃の生活に、昔から受け継がれてきた行事食や旬の食材などを取り入れて、季節を感じながら家族や友人と食事を楽しむ機会にはいかがでしょうか。

告 告

告 告

# まちかど NEWS



白石川河川敷での一斉清掃



川底のごみを拾い集める陸上自衛隊船岡駐屯地の皆さん

## 桜景色を最高の状態に ～おもてなし大作戦～

NEWS

「しばた桜まつり」に訪れるお客様に気持ちよく桜を楽しんでいただけるように、「おもてなし大作戦」が3月28日(土)、白石川河川敷と船岡城址公園で行われました。各団体や町民、700人が参加し、ごみ拾いや草刈りなどの清掃活動を行いました。仙台大学4年生で漕艇部の加藤紗愛さんは「毎年桜が楽しみで、他の方々にも、綺麗な桜を感じてもらいたいです」と汗をぬぐっていました。

100歳

## ぬり絵が大好き 小池 桂子 さん

船岡地区の小池桂子さん(大正4年3月25日生まれ)が、娘さんやお孫さんに囲まれながら、100歳の誕生日を迎えられました。桂子さんは、生まれも育ちも船岡で、民謡の先生をされていた。町長からお祝い状を受け取ると「ありがとうございます」と笑顔でお礼を述べられました。健康の秘訣は、毎日自分の力で歩くように心がけ、三食残さず食べることだそうです。



ぬり絵を週に2枚程描かれています。

告 告

告 告



## 多くの人を魅了 「しばた千桜橋」



しばた千桜橋から白石川堤の桜を眺める観光客

しばた桜まつりが予定よりも早い4月4日(土)から開催されました。白石川堤と船岡城址公園を繋ぐ「しばた千桜橋」から満開の桜を見ようと、県内外からたくさんの方々が訪れました。

亘理町から来た庄司智哉さんは「橋の上から白石川堤の桜並木が一望でき、とても魅力的です」と町の新たな観光スポットを満喫していました。

## 3年ぶりの開催 「柴田さくらマラソン」



ラストパートは桜並木の下で

晴天に恵まれた4月18日(土)、柴田さくらマラソン実行委員会主催による「第9回柴田さくらマラソン」が行われました。桜吹雪が舞う白石川沿いを2,569人のランナーが力走しました。

お父さんといっしょに2kmを走った名古屋希花さん(仙台市・小学校1年)は「初めてのマラソンでしたが、楽しく走れました。またマラソン大会に出場したいです」と充実した笑顔を浮かべていました。



演目は「王様の耳はロバの耳」。人形や舞台は全て手作りです。

## 30年間ありがとう なかよし人形劇団ラスト公演

昭和59年に設立し、町内外で毎年約20回の公演を行ってきた、なかよし人形劇団。3月28日(土)に、とっておきの広場(旧羽山児童館)で、最後の公演が行われました。

子どもたちとのふれあいを大切にしてきた劇団員の須藤よし子さんは、21年間の活動を振り返り、「子どもたちと一緒に楽しんで演じられる人形劇は生きがいでした」と話されました。

広 告

広 告

# 新行政区長を紹介します

4月1日付けで、3つの行政区の区長が交代しました。各地域の新たなまとめ役となる3人の方をご紹介します。



12B区区長  
阿部 道



9B区区長  
高橋 聡



7A区区長  
馬場 正義

## こうほう 文芸

### 短歌

ホヤホヤのよだれの孫の初舞台武者人形に匍匐前進  
 黙もくと雑草抜きて無心なり大地に触れて学びの多き  
 雪洞の朧な灯手をつなぎ夢から歌の朝は明けまし  
 咲く時も散る様もあるさくら花今ぞ自戒のお花見の節  
 木漏れ日を受けて俯く片栗の姿恥しう乙女のように

本船迫 森田 眞六  
 船岡 沢田 順子  
 西船迫 三澤 精一  
 船岡 可沼 妙子

### 川柳

物忘れするけれど十二支忘れない  
 どの道をどう戻ろうか花の町  
 車窓よりたがやしくてくれと待つ田んぼ  
 白鳥は桜も見ずに何故急ぐ  
 春の庭花芽か草か踏み込めず  
 空青く千桜橋の渡り初め  
 高校の野球テレビにしがみつiki  
 待ちに待つ千本桜にうかれおり  
 気がつけば女房家の司令塔  
 災害を契機に備品の総点検  
 挿し木して根づく春待つ楽しみに  
 庶民には遠く天文的予算  
 人生の老いて齒もなし金もなし  
 横綱の郷里はやさしい羊飼  
 老骨がにっこり笑う日向ぼこ  
 骨の血は三代目にも流れ

四日市場 郷土 山櫻  
 四日市場 曳地 真翔  
 船岡 鈴木 智子  
 船岡 長尾 純子  
 船岡 佐藤 春市  
 船岡 阿部トクエ  
 船岡 小野寺一彩  
 上名生 西村 久子

### 俳句

用水の瀬音も入れて春あらし  
 癒される心にやさし春の風  
 片栗の花にいやされ急登を  
 春の闇ふわりと浮かぶ赤い月  
 代掻の村いつせいに動き出す  
 朧夜や心の隅のポロネーズ  
 青嵐猫はしつぽでしゃべりけり  
 漂ふは甲斐の御魂か黒揚羽  
 東京の急な坂ゆく菜の花忌  
 野いばらの花や迂回の径探す  
 茨咲く三角点の風の音  
 早乙女の影さざなみが消し去りぬ  
 分流は暗渠に入りぬ夏つばめ  
 遠空に鳥こぼれたり花茨  
 見えざるも見ゆるも梅や夏始まる  
 儂くも舞う花びらに励まされ

下名生 笠松ふみ子  
 船岡 安藤 節子  
 西船迫 玉手みき子  
 西船迫 安ヶ平奈津枝  
 槻木 永井 堯  
 大槻 信吉  
 小野 憲彦  
 江戸 裕子  
 上遠野三恵  
 鎌形 清司  
 鈴木 清子  
 鈴木 三山  
 鈴木 幸子  
 相馬カツオ  
 石母田星人  
 千 舞

広 告

広 告



夢空間 2015



はなちゃん  
(ペンネーム)



切り絵「水仙」  
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)



最終兵器俺達 (ペンネーム)



女王の番犬 (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳までの写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



砂押恵里奈さん  
東船岡小学校3年



海の底のお話「カプリン」(絵)



遠藤立慧さん  
東船岡小学校3年



海の底のお話「カプリン」(絵)

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募でつくるコーナーです。お子さんやお孫さんの写真を載せたい方、俳句・川柳・短歌などを載せたい方は、はがきなどで5月11日(月)までご応募ください。

※投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。

※紙面の都合などにより掲載できない場合があります。応募写真・作品は返却しません。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

「花のまち柴田パンフレット」有料広告募集

花のまちづくりを応援し、あなたのお店や会社をPRしませんか。

■ 5月1日(金)~13日(水)、8:30~17:15まちづくり政策課まで(平日のみ)

■ 募集枠数/12枠 ■ 掲載料金/5,000円(1枠) ■ 広告の規格/縦45mm×横86mm(1枠)

■ 申込方法/所定の申込書と原稿をまちづくり政策課に提出してください。

申込書は、町のホームページからダウンロードできます。

■ その他/パンフレットは6月発行(4,000部)予定です。オープンガーデン事業などのイベント時に来訪者へ配布します。

■ 問 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

Vol.19  
思いを  
胸に

『お客様とのコミュニケーションを大切に』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



コカ・コーライーストジャパン株式会社  
仙南支店  
リテール営業グループ

**有住 はるな**さん(24)

ありすみ

皆さんも「コカ・コーラ」を一度は口にしたことがあると思います。飲んだ時の爽快感がたまらない、世界中で愛されている飲み物です。この清涼飲料を販売しているコカ・コーライーストジャパン株式会社仙南支店が下名生地区にありますが、ここで営業担当として活躍している有住はるなさんを紹介いたします。

「営業の仕事をしたくて、この会社を選びました」と、はっきりとした口調で言う有住さん。学生時代のアルバイトで、営業職に興味を持ったそうです。朝から赤い営業車で得意先などを訪問し、多い時には一日100km以上走りまわります。有住さんは「最初はガチガチでした。お得意先の皆様から教わりながら仕事を覚えてきました。これからもコミュニケーションを大切にがんばりたい」と言います。多くの人と接する営業活動が、自分自身を成長させてくれると気づいているからです。

支店長の秋葉大至さんは「女性初の営業として、新しい風をおこしてくれています。社内でも報告

や相談することを心がけ、仕事の悩みを一人で抱え込まないところが彼女の良いところですよ」と高く評価しています。

飲めば爽やかな気分になせられる清涼飲料。お店で私たちが手にするまでには、有住さんのけなげに頑張る姿があったのでした。

コカ・コーライーストジャパン株式会社 仙南支店

柴田町大字下名生字八剣 98  
TEL 55-2544



昭和37年に設立。仙台飲料(株)、仙台コカ・コーラボトリング(株)と商号変更し、平成27年4月から現在の商号になる。関東・東海・南東北地域の1都15県を販売地域として、多彩な清涼飲料の製造・販売事業を展開する。従業員7,397人。

**人口と世帯数**  
(平成27年4月1日現在)



38,324人  
(前月比57人減)



19,062人  
(前月比38人減)



19,262人  
(前月比19人減)



15,162世帯  
(前月比9世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。